



矢作川流域連携の軌跡から  
森林価値の最大化を導き出す  
～“nebane”プロジェクトの  
共創と展開～

根羽村長  
大久保 憲一

nebaneプロジェクト代表  
一般社団法人ねばのもり代表理事  
杉山 泰彦

# 流域がつながり合う 経済圏をつくる

長野県・岐阜県・愛知県を流れる矢作川の源流である根羽村が流域の暮らしや企業、社会に対してできることはなんだろうか？と考える。

源流や上流の環境が美しいというのは、それだけで本当は社会にとって重要なこと。

それでも今、川の流れに目を向けられる人がどれくらいいるだろう。

だからこそ、流域の中でそれぞれが得意な価値を交換するための仕組みをつくる。

それが源流を豊かにし、下流も豊かにしていく。

そんな良い循環を生み出し、流域経済圏を可視化し関係性をつくっていく。

お互いがお互いのことを考えることで次の時代の「流域」を形作る。

# 根羽村の地勢・概況

● 長野県内の根羽村の位置

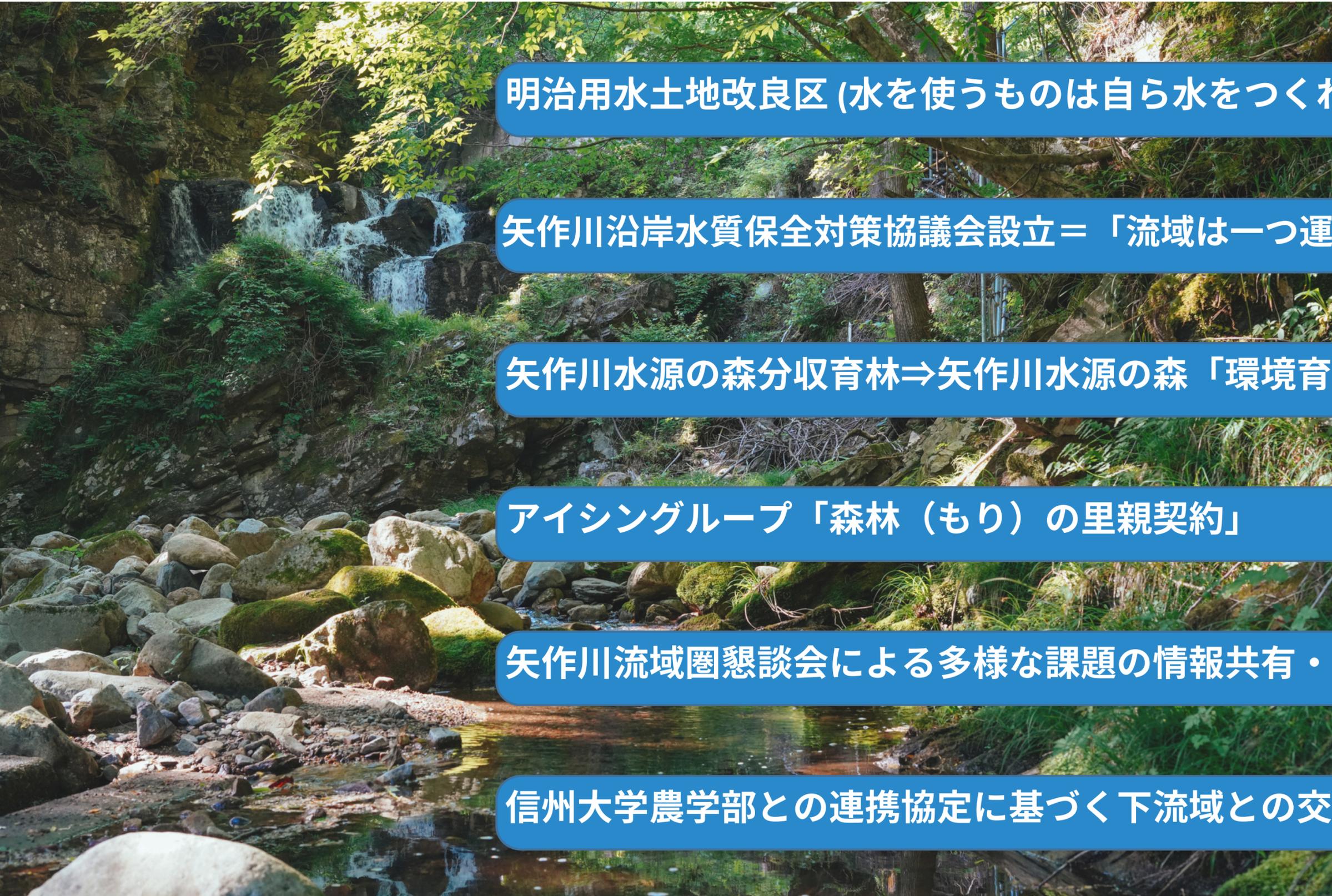


根羽村	
地域面積	8,997ha
うち森林	8,546ha
人口	789人
世帯数	391世帯

## 矢作川

延長118km・流域面積1,830km<sup>2</sup>  
 生活用水供給区域の人口約138万人  
 製造品出荷額約30.5兆円

# 根羽村における流域連携



明治用水土地改良区 (水を使うものは自ら水をつくれ)

矢作川沿岸水質保全対策協議会設立 = 「流域は一つ運命共同体」

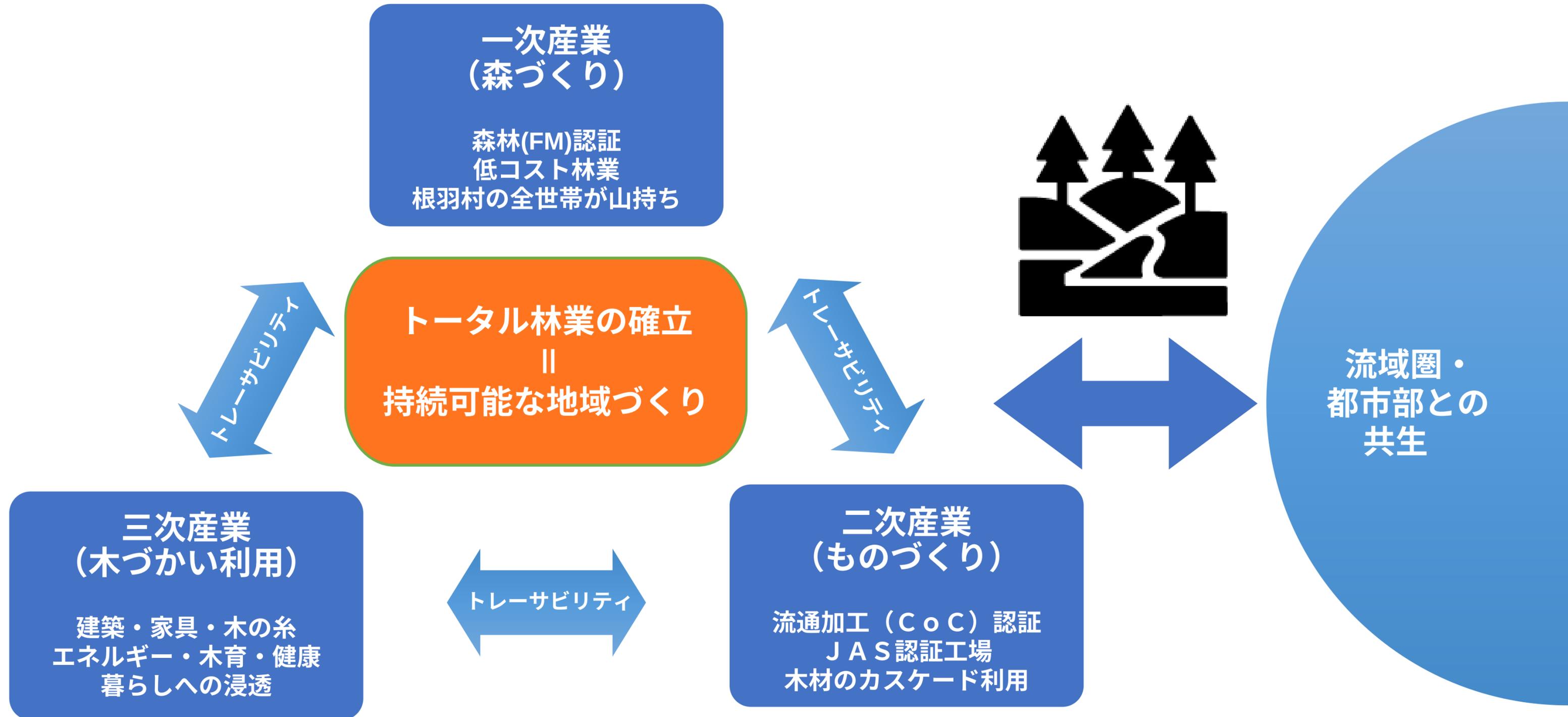
矢作川水源の森分収育林⇒矢作川水源の森「環境育林協定」締結

アイシングループ「森林（もり）の里親契約」

矢作川流域圏懇談会による多様な課題の情報共有・意見交換

信州大学農学部との連携協定に基づく下流域との交流・相互発展

# 根羽村：トータル林業による持続可能な地域づくり



**源流の森の管理者として  
今、何をするか**

農山村地域が持続可能な地域となるために、様々な課題や条件不利性を克服するだけでなく、  
**地域資源を日本・世界で類のないレベルにまで磨き上げ、オンリーワンの「輝く農山村地域」を創造**

**目標**  
**オンリーワンの「輝く農山村地域」の創造**  
**農山村地域を将来にわたって持続可能な地域へ**  
 (取り組む市町村数：5市町村程度 (R5~9年度))

農山村地域を輝かせることが、持続可能な県づくりにつながる

- ・都市部よりも人口減少・若年者比率の低下が先行→早急な対応が必要
- ・様々な資源の供給、多面的・公益的機能→都市部の維持存続にも関係
- ・人口減少に適応した地域づくり→将来の都市部の課題解決のモデル

## 「地域の誇り」「愛着」、地域外を惹きつける「魅力」の波及

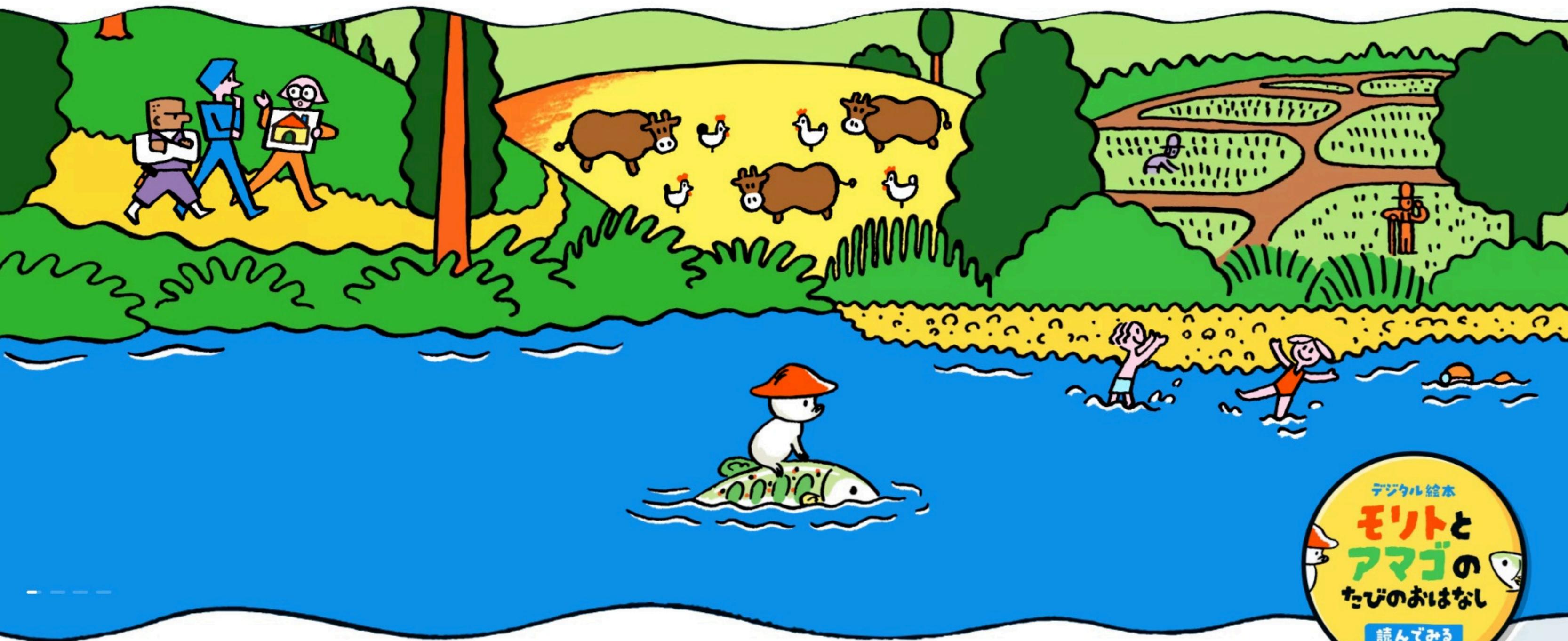
**手段**  
**地域資源を磨き上げ、魅力を最大限に活用**  
 ※有形・無形問わず、地域に暮らす人々の誇り（シビックプライド）の醸成に寄与している地域資源を活用  
 ※経済的価値創出やDX・GXがより地域内外の人を惹きつける

**「磨き上げ」**  
 …他地域との「違い（独自性）」や「強み（優位性）」を明確化  
**「最大限に活用」**  
 …様々な分野で活用し、地域内外により多くの関わりしろ・磨き上げた効果の波及



## 「未来に向けた変革を生むチャンス」-新たな未来へ向け果敢に挑戦-

人口減少による構造的課題	農山村地域の強み	コロナ禍等を契機とした価値観の変化		
<b>関わりしろ・自己実現の場</b> ・人口減少・若年者比率の低下 ・産業の担い手不足 →ピンチをチャンスに！	<b>意欲ある市町村の取組</b> ・高いポテンシャルの地域資源 ・社会問題解決につながる取組	<b>Z世代が社会人に</b> ・自己実現、社会問題への関心 ・モノより「コト」、多様性	<b>地方回帰</b> ・豊かな自然などの魅力 ・多様なライフスタイルの実現	<b>テレワークの普及</b> ・場所や時間にとらわれない働き方が可能に



デジタル絵本  
**モリトと  
アマゴの  
たびのおはなし**  
読んでみる

つながりあうことで、流域はもっと豊かになる。



# 従来の問い

**過疎地域の課題を解決するために  
地域外の協力をどのように募れるか**

→ **主語が“地域の課題”**

人口減少

社会情勢の急速な変化

過疎地域の衰退

経済成長の限界

全国の地域がすべて残る可能性は限りなく低い  
(どこかで取捨選択が起きる?)

# 地域が目指すべきポジション

地域が取捨選択される時代が来るリスクを見越して  
社会から「**選ばれる地域**」になる必要がある  
(投資先・共創パートナーとして)

# 発想の転換（問いの転換）

~~過疎地域の課題解決のために  
どう外部と連携するか~~



社会が抱える課題に  
過疎地域が  
どう価値発揮できるか

# 問いに対するアプローチ

森林資源の“**素材屋**”や“**半加工食材**”の立場として  
アプローチをし、共創プロジェクトを通じて  
都心部や社会の課題解決を担う  
(メインターゲットを流域に設定)



どうすれば、扱いやすくなるか



**蒸留加工**



**木の糸への加工**



**研修や教育としての加工**



**イベントとしての加工**

加工作業を通じて  
素材としての幅を持たせることで  
共創先の窓口を広げていく





mozoの、  
生命が溢れる森削り

ヒノキを香りを纏わせた  
新しいチョコレートを作りました。



ニオイコブシと  
クロモジの香りの  
生キヤラメル

2025/09/01更新

## 【源流留学 in 根羽村】親 子で森と水と自分を育む旅 へ。

募集期間 8/16まで

日程 8/23

場所 長野県 根羽村

参加費 ¥11,000 (大人) / ¥8,250 (子ども)

主催 株式会社JR東海エージェンシー/協力：株式会社名鉄未来クリエイツ

# 山村留学 # 親子向け # 地域資源 # 関係人口 # 自然探求



# Living with the **forest** LAB

森との暮らし LAB

## #1 森と遊ぶ

森のプレーパーク

ネイチャーツアー

森の蒸留会

2025.9.21 (13:30-16:30)

@ 久屋大通り広場シバフヒロバ①



森の加工作業を通じて  
素材としての幅を持たせることで  
共創先の窓口を広げていく

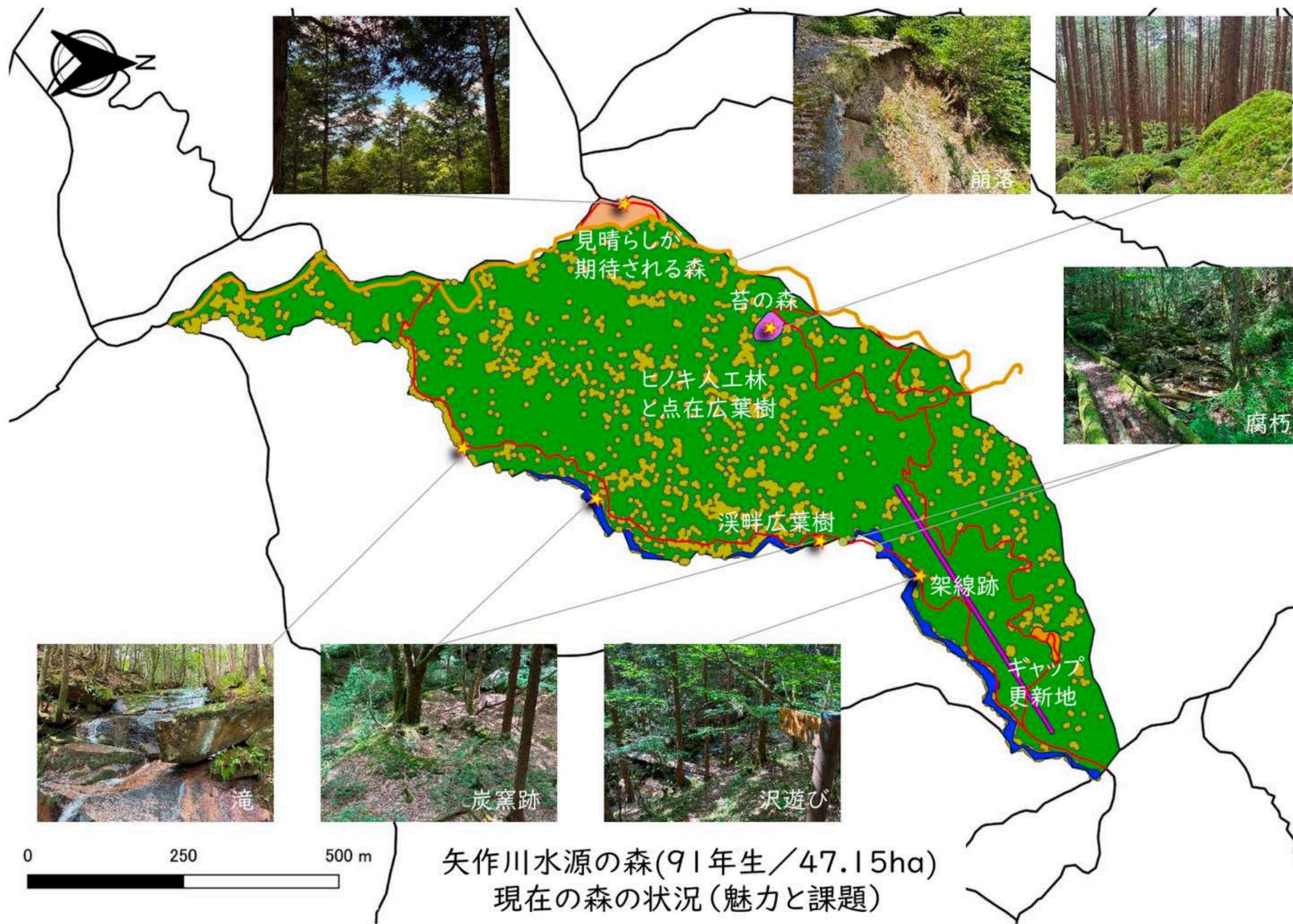
→ 約15の企業・大学・自治体等と  
連携をしながら複数プロジェクトが進行中

「どう森に還元するか」

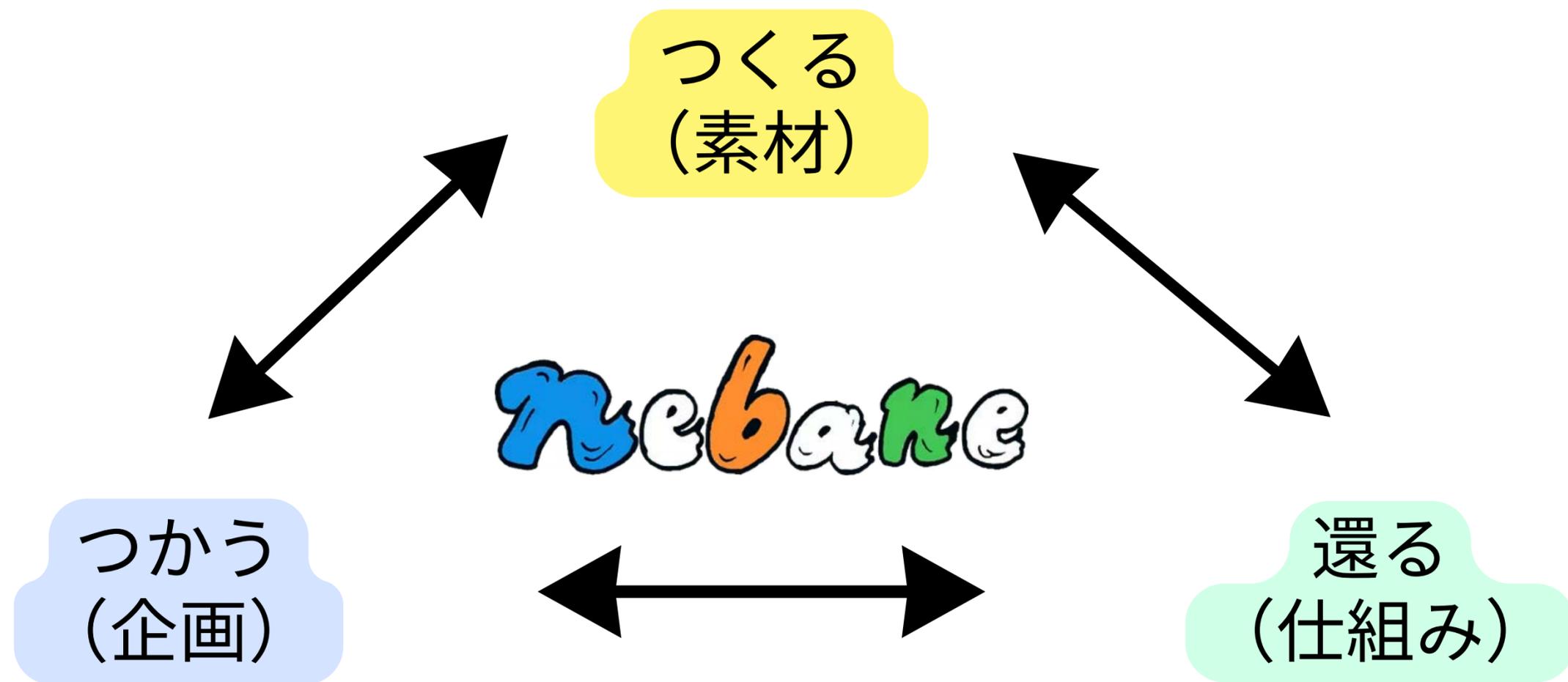


# 「矢作川水源の森」環境育林 位置図





バックキャストで中長期的に  
村全体の森づくりを担う機能を実装予定  
(人工林7割の根羽村の森のリデザイン)



**俯瞰しながら循環させるのが“nebane”の役割  
(循環させることで魅力と価値がより高まる)**